

# 働き方改革「一歩ずつ」

高松商議所  
セミナー | 高松青果社長が講演

働き方改革に理解を深めるセミナーが18日、高松市番町の高松商工会議所会館であった。参加者は先進事例として全国的に紹介された地元食品卸業者の取り組みに耳を傾け、業務改善の可能性を見つめ直した。写真。

セミナーは、中小企業の人材確保を支援しようと同商議所が開催。会員事業所から約60人が参加した。

この日は、3月に農林水産省が出した「食品産業の働き方改革早わかりハンドブック」で、取り組みが掲載された高松青果（同市）



の斉藤良紀社長が登壇。連続有給休暇の取得や在宅勤務の導入、日直当番の軽減などの実践例を紹介した。齊藤社長は、現在は5日間の連休を8日間に延ばすことを目標に「業務の見え化、平準化」を進めている。

ることを説明。「時間はかかるが、平準化できれば社員の『いいところ取り』ができ、サービス水準も上がる」との見通しを示した。

また、残業を望まない社員が多いとのアンケート結果が出るなど「やってみて気付くことがたくさんある」と振り返り、「働き方改革に取り組み始めると、社員は『会社が自分たちを大切に思っている』と敏感に反応してくれる。皆さんも一歩ずつ前に進んでみてはどうか」と語り掛けた。



地経1